

報道関係者各位

2008年6月5日

コーチ・トゥエンティワン主催
6月17日開催 新CSTリリースセミナーのご案内
～コーチ型マネジャーが組織にもたらす効果～

日本におけるコーチングのリーディングカンパニー、株式会社コーチ・トゥエンティワン(東京都千代田区、桜井一紀取締役社長)は、6月17日(火)六本木アカデミーヒルズにて“新CSTリリースセミナー～コーチ型マネジャーが組織にもたらす効果～”を開催致します。

5月14日に発売を開始したCST(コーチング・スキル・トレーニング)は、約4ヶ月間の集中的・実践的なトレーニングでリーダーシップが確実に身につく、企業向けのサービスです。その目的は、「コーチ型アプローチ」を身につけ、マネジメント力を向上させること。電話会議システムを使った少人数グループ(3~5名)によるトレーニングは、顧客企業の課題やニーズに合わせてカスタマイズされるため、リアリティがあり、効果があがる仕組みになっています。

本シンポジウムでは、CSTを先行して導入した顧客企業から、導入の経緯、「コーチ型アプローチ」が組織にもたらす効果などについてパネルディスカッション形式でご紹介します。当日の取材を是非、宜しくお願い申し上げます。

日時： 6月17日(火) 13:30-17:00 (開場12:30)

場所： 六本木アカデミーヒルズ49 オーディトリウム
東京都港区六本木6-10-1

内容：

13:35 - 14:35 基調講演 「今、企業に求められるリーダーシップとは」
株式会社コーチ・トゥエンティワン 代表取締役会長 **伊藤 守**

14:50 - 15:15 CST商品概要 「新CST(コーチング・スキル・トレーニング)特徴のご案内」
株式会社コーチ・トゥエンティワン 取締役社長 **桜井 一紀**

15:15 - 16:00 導入企業事例 **アクサ生命保険株式会社様**

16:15 - 17:00 導入企業事例 **株式会社マクキャンエリクソン様**

お問合せ： 株式会社 コーチ・トゥエンティワン 広報担当：市川

TEL: 03-3237-9781 FAX: 03-5275-0737

*大変お手数ですが、下記に必要事項をご記入いただき、6月12日(木)までにFAXにてご返信いただきますようお願い致します。

6月17日(火)参加申込み表		FAX 03-5275-0737		締切日 6月12日(木)
貴社名		TEL		
媒体名		FAX		
御氏名		E-mail		
出席		欠席だが、資料がほしい		

コーチング・スキル・トレーニング (CST) プログラム概要

特徴：

- 1) 導入企業のニーズに合わせ、カスタマイズされた最適なトレーニングを実施。
- 2) 全 12 回 (標準) 約 4 ヶ月、少人数グループによる集中・継続トレーニング。
- 3) 電話会議システムによる週 1 回 1 時間のセッション。
- 4) セッションで扱った内容を現場で実践。それを繰り返す、集中・継続トレーニング。
- 5) 4 回の 360 度アセスメントによるコーチングスキル推移のチェック。
- 6) 参加者とその周りの人に 360 度アセスメントを実施することで、チーム全体がプロセスに参加。
- 7) 国際的実績のある米国人コーポレートコーチと共同開発した最先端のテキスト。
- 8) 参加者の役職、職種に合わせたプログラムの提供。
 - ・ CST for マネジャー (管理職向け)
 - ・ CST for セールス (営業マネジャー向け)
 - ・ CST for エグゼクティブ (経営幹部向け)

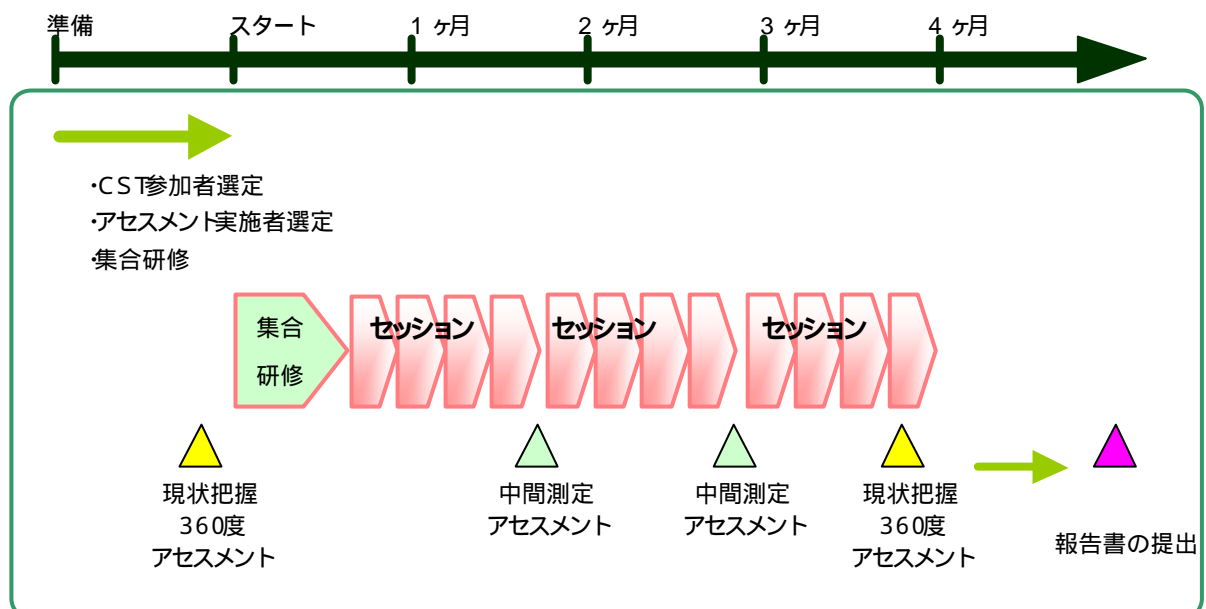
主要対象者：

- 1) 管理職
- 2) 経営幹部

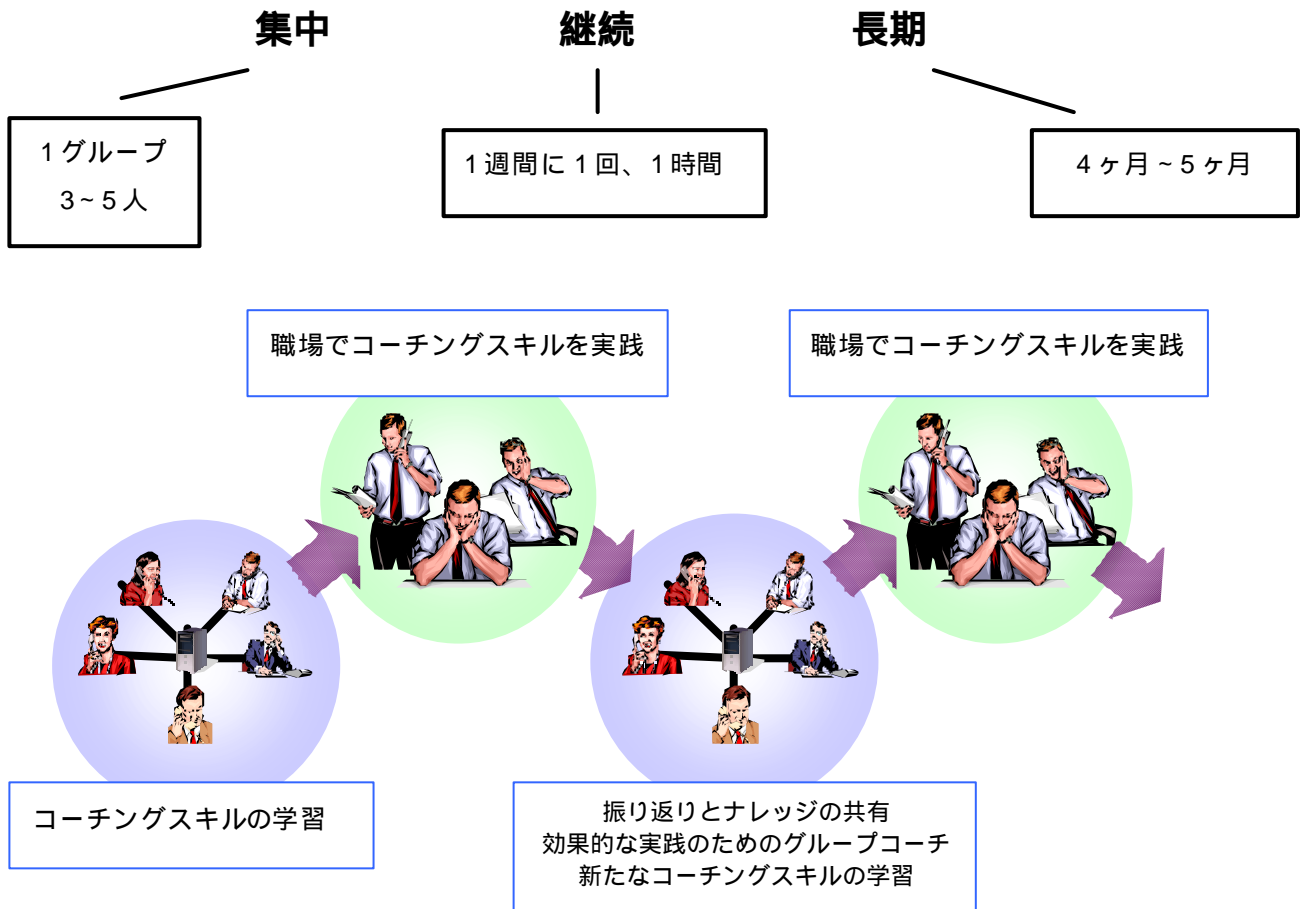
カリキュラム：

- 1) 集合研修
- 2) 360度アセスメントによる個人の現状把握と目標設定 (全4回)
- 3) 電話会議システムによるオンラインクラス (全12課程)
- 4) 360度アセスメントによる効果測定
- 5) 報告書の提出

実施スケジュール例：



CSTの学習モデル：



< コーチングトレーニング10年間の実績を凝縮 >

CSTは、過去10年間 コーチ トゥエンティワンがトレーニング・プログラムを導入した企業の成果などを徹底的に分析し、より成果があがる要素を抽出してプログラム化しました。開発には、国際的な実績をもつ、米国のコーポレートコーチらが参画し、コーチング先進国の視点が入り入れられています。

< 期待できる成果 >

CSTはすでに30社以上の企業に試験導入をしてきており、そこでは以下のようなめざましい成果があがっています。

参加者が確実にコーチングスキルを身につけ、職場で実践できるレベルになる。

同一企業内のグループコーチングをすることで、管理職同士のコミュニケーションの場が形成され、連帯感が生まれる。

参加者を取り巻く社員にもオリエンテーション、アセスメントを実施することにより、コーチング、コミュニケーションの重要性が認知され、組織全体のコミュニケーションレベルが向上する。

組織のコミュニケーションレベルの向上により、離職率の低下、売り上げの向上といったビジネスインパクトをもたらす。